

豊中若者の集い 歩道調査ユニット

豊中若者の集いとは、2007年まで23年間続いた、『「障害」をもつ仲間と共に歩む豊中若者の集い』の略称で、市内18校の中学生に声をかけ、「障がいのある仲間」と共に、クラスで生活をする上での楽しさや悩みなどを交流する場を設けてきました。

中学生を集めての活動は幕を閉じましたが、市内中学校の卒業生を中心とした実行委員は、市民団体として何か活動できないか…と考え、『車いす体験』などの実績をもとに、「歩道調査ユニット」を結成。車いすを利用している実行委員や、市民活動情報サロンの方々のアドバイスも受けながら、2004年から市内全域の歩道・公園・歩行者ゾーンを調査し、マップにする活動を始めました。その後、豊中市の『協働事業提案制度』に提案。当初は単年度の事業でしたが、実績が認められて継続事業となり、2007年には大阪府草の根人権活動奨励賞も受賞して今に至っています。

調査は、市から頂いたデジタルマップ(白地図)の上に、歩道の段差や傾斜、路面状態などを色分けした記号で記入。公園のポール間などを計測して車いすでも入園できるか…、水道は使いやすいか…などを調査。その他ポストや公衆電話などの公共施設も書き込んでいきます。必要な箇所はカメラに収め、それらをコンピュータでHP用のデータに直していきます。

夏の歩道はまさに地獄で、熱中症になりかけたり、冬の調査では手がしびれ、指がつったり…と、作業はととても大変でしたが、今年(2010年)の1月末によく市内全域を調査し終えました。HP用データに直すのにかなりの時間が必要なので、全マップの完成はまだまだ先の話ですが、調査は2周目を開始し、今度は車いす利用者等を対象とした「看板設置」を考えています。ぜひ一度HPを覗いてください。

歩道調査HP : <http://www.ekisuta.jp/hodou>
 連絡先 : 歩道調査ユニット事務局 齊喜慶三
 E-mail : seacuss@zeus.eonet.ne.jp



陸橋により幅が狭くなった部分を計測中。

ウィメンズネット 考えるキャベツの会

考えるキャベツの会が活動を始めたのは2003年9月です。5人の集まりで、下記の文章を書き上げました。

“私たちのグループは、女性に関わるさまざまな問題を考える仲間が集まり、2003年に始まりました。

その中で「個人の問題は社会の問題」という言葉に出会って、そうなのかもしれないと思うと同時に、いったいどんなことなのだろうという疑問がこのグループが続いている大きな理由かもしれません。

生き難い自分自身を抱え、私(個人)って何? 社会って…? 社会の中の私って? と、遅々たる作業を続けています。

キャベツと名づけた理由は深くはありません。(否、深いのかも!)ただ、畑の中で、土に根を張って、肥ったキャベツが並ぶ姿は大きな存在感があります。

こんなキャベツはまさに私たちのシンボルにふさわしいと名づけました。そして、これからは土に根を張った多くの女性たちとも交流できることを願っています。”

富田林市主催の「第4回 女性問題アドバイザー養成講座—電話相談員養成講座—」に参加した5人の思いです。以後、他グループとの連携を図りつつ、女性の為の面接相談、電話相談、アサーションワークなどを通してコミュニケーションのとり方についての講座開催、また、子育て中の母親への支援の場にも参加し、少しずつ活動の場を広げ今日に至ります。

また、グループ結成当初からのテーマである「暴力の根絶」を願い、電話相談や講座を開催し、富田林市主催のBe-inひろっぱにて、DVについて広く知ってもらいたいと分科会を行ってきました。今年も昨年に続きデートDVをテーマに行います。

これからも女性が伸びやかに生きられればと願い、活動が続けていきたいと思えます。

E-mail : kankyabe@gmail.com

